MLT Advance 機能強化項目一覧

①プログラム送信機能強化

プログラム送信の行数を10,000行から最大1,000,000行相当へ増加

100μs分解能での送信対応

LIN・CXPIのプログラム送信対応（※1）

※1　ご注意
ヘッダを見ながら　登録されているレスポンスを送信する様に機能追加し、このレスポンスの値を書き換える様に動作します。
但し、評価対象機器がマスターの場合、ロギング時とプログラム送信時で評価対象機器のクロックジッタの影響により
ヘッダのスケジュール時間が微妙に異なり、積算誤差が発生する場合がございます。
この様な場合、評価環境に応じカスタマイズを行えますので、ご相談ください。

②送信機能強化

高負荷送信対応

CAN-FD/CAN通信は2Mbps迄でのバス負荷100%まで対応

LIN・CXPI通信はバス負荷100%に近い高負荷試験を実現

手動送信・応答送信・イベント/定期送信

100μs分解能での送信対応

③対応プロトコル大幅拡張

CAN-FD/CAN：最大10ch　LIN：最大10ch　I2C：最大2ch　CXPI：最大4ch　まで対応可能

※　それぞれモデル・価格共に異なります。詳しくはお問い合わせください。

④アナログ入力精度向上

計測電圧範囲：0～20V　最小サンプリング（1ms）　電圧精度±0.2V以下（実力は±0.1V以下）

最大8chの電圧波形を1000時間連続ロギング可能な環境を実現

⑤ポートログ性能の向上

120Hz：0～100% Dutyの波形等を分解能10nsの精度で長時間ロギング可能

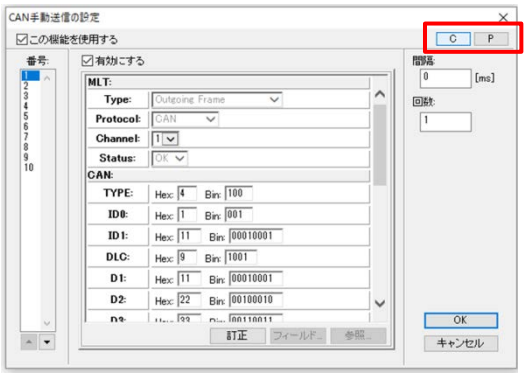
⑥スタンドアローン機能向上

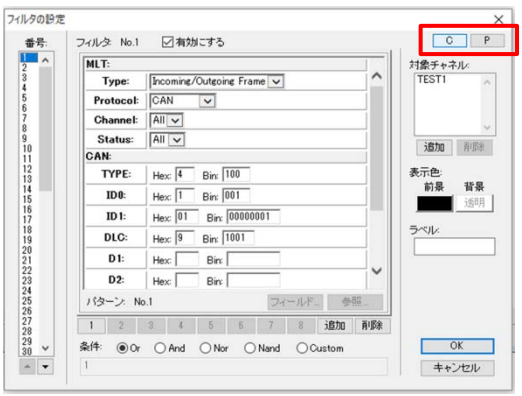
スタンドアローン時のプログラム送信量増量

フラッシュ書き込み時間改善

⑦MLT Advan Navigator機能改善

フレーム送信設定画面、およびフィルタ設定画面での設定のコピー&ペースト対応





■お問い合わせ
株式会社プリズム　〒446-0073　愛知県安城市篠目町1-11-15
担当：杉浦 久美子　sugiura@prism-arts.co.jp　TEL：0566-74-4441

PRISM

2018年7月